

令和6年度 年間授業計画

東京都立大森高等学校 定時制

科目名	学年	単位	総授業時数	必修・選択	
現代文B	4	2	70	必修	
指導目標	基礎的・基本的な教育内容の定着を図る。 (1) 社会参加に必要な語彙力（常用漢字の読み書きを含む）を身に付ける。 (2) 根拠に基づいて、文章を読んだり自己の意見を言えたりするようにする。				
授業内容	第一期	第一学期授業時数計＜ 24 ＞ ①大江健三郎「どんな人になりたかったか」・・・文中の叙述を根拠に、文章を読む。 ②俵万智「殺し文句は永遠に」・・・古典の現代における意味や日本文化の特質について、考えを深める。 ③森本哲郎「ひかりのどけき春の日に」・・・日本の古典文学や日本の伝統に対する興味を広げる。 ④漢字演習・国語常識 (達成目標) ①自己の観点に基づき、考えや意見を根拠をもとにして構築し、発信できる。 ②基本的な漢字の読み書きに習熟する。			
	第二期	第二学期授業時数計＜ 28 ＞ ①藤沢周平「おぼろ月」・・・小説の読み方を理解する。 ②小関智弘「鉄を削る」・・・社会に即した文章を読み、自己の考えを持つ。 ③短歌・俳句・・・伝統的な言語文化を学び、言語感覚を養う ④漢字演習・国語常識 (達成目標) ①文章に描かれた人物・情景・心情など表現に即して読めるようにする。 ②文中の叙述を根拠にして、読解ができるようになる。 ③文語文や定型を理解し、韻文を読む。 ④基本的な漢字の読み書きに習熟する。			
	第三期	第三学期授業時数計＜ 18 ＞ ①夏目漱石「こころ」・・・優れた文章を読み、自己の世界を広げる。 ②漢字演習・国語常識 (達成目標) ①近代文学名作を読み、すぐれた表現を味わう ②基本的な漢字の読み書きに習熟する。			
	評価方法	中間考査及び期末考査による素点、授業の態度、プリントや小テストの提出状況と達成度、授業中の発表などをもとに総合的に判断する。			
	教科書	『新編現代文B』改訂版（大修館書店）			

令和6年度 年間授業計画

東京都立大森高等学校 定時制

科目名	学年	単位	総授業時数	必修・選択
日本史A	4	2	70	必修
指導 目標	日本の近現代の歴史の展開を、「世界の中の日本」「アジアの中の日本」という観点で世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養う。			
業 内 容	第 一 学 期	第一学期授業時数計<24> 第2章 立憲国家の成立 立憲制の成立、立憲政治の展開、日清・日露戦争（10時間） 第3章 第一次世界大戦と日本 政党政治の展開、ワシントン体制、経済・社会の変容（14時間） （達成目標）欧米諸国がアジア進出していく中で、日本が立憲国家としてどのような変化を遂げていったかを理解する。		
	第 二 学 期	第二学期授業時数計<28> 第4章 昭和の恐慌と満州事変 恐慌の時代、政党内閣期の内政と外交、軍部の台頭（14時間） 第5章 第二次世界大戦と日本 日中戦争、重化学工業化と統制経済、第二次世界大戦と太平洋戦争（14時間） （達成目標）戦時体制の強化や日本の外交上の選択について理解するとともに、太平洋戦争が不可避なものだったかどうか、日米交渉から開戦決定までの経緯に照らして考えることができる。		
	第 三 学 期	第三学期授業時数計<18> 第6章 占領下の日本 占領と改革、冷戦の開始と講話（18時間） （達成目標）連合軍の方針のもとに進められた戦後の諸改革が、どのような過程を経て実現していったのかを理解する。		
評 価 方 法	①授業時の平常点（出席状況、授業態度、授業時の課題取り組み状況、学習用具の準備、課題提出状況、振り返りシート等）と考査の得点を総合して評価する。②必要に応じて補習を実施し、取り組み状況を評価の際に考慮の対象とする。③欠時が年間20時間を越えた場合には学年の評定を「1」とする。④遅刻は3回で1回の欠席とする。⑤飲食・携帯など指導に従えない場合は欠席扱いとする。			
教 科 書	山川出版社『日本史A 改訂版』			

令和6年度 年間授業計画

東京都立大森高等学校 定時制

科目名		学年	単位	総授業時数	必修・選択
数学A		4	2	70	必修
指導目標	3年次で学習した数学Aの内容に引き続き、より高度な数学を学習する。				
授業内容	第一学期	第一学期授業時数計(24) 第2章 整数の性質 <ul style="list-style-type: none"> 整数の性質 最大公約数と最小公倍数 最大公約数と最小公倍数の関係 (達成目標) 数の構成要素として「素因数」を理解させ、数同士の関係性を理解させる。			
	第二学期	第二学期授業時数計(28) 第2章 整数の性質 <ul style="list-style-type: none"> ユークリッド互除法と不定方程式 不定方程式 2進法の仕組みとその性質 (達成目標) 互除法を理解させることによって、数を理解させその相互関係を理解する。 2進法を理解することによってコンピューターの簡単な仕組みを理解させる。			
	第三学期	第三学期授業時数計(6) ・高校数学の復習 (達成目標) これまでに学習した内容の総復習を行う。			
評価方法	定期試験の得点を基本とし、授業態度・出席状況・授業に対する姿勢などを加味し評価する。				
教科書	実教出版 「高校数学A」 新訂版				

令和6年度 年間授業計画

東京都立大森高等学校 定時制

科目名	学年	単位	総授業時数	必修・選択
地学基礎	4	2	70	必修
指導目標	自然の事物・現象に関する観察、実験などを通して、地学とそれを取り巻く環境を中心に、自然の事物・現象について理解させるとともに、科学的な見方を取り入れ、自然に対する総合的な見方や考え方を養う。			
授業内容	第一期	第一学期授業時数計 < 24 > 第1章 宇宙における地球 第1節 宇宙の構成 ① 宇宙のはじまり ②宇宙の広がり と 銀河の分布 第2節 太陽 ③太陽の構造 ④太陽の誕生と将来 第3節 太陽系の中の地球 ⑤太陽系の構造 ⑥地球型惑星 ⑦木星型惑星 ----- (達成目標) 宇宙のはじまりについて理解し、太陽、太陽系の惑星について、構造や特徴を理解する。そのうえで、地球に生命が存在する理由について説明できるようにする。		
	第二期	第二学期授業時数計 < 28 > 第2章 活動する地球 第1節 地球の姿 ① 地球の形と大きさ ②地球の内部構造 ③プレートの運動 第2節 火山活動と地震 ③火山の分布 ④火山の地形 ⑤火成岩の種類 ⑥地震の発生するしくみ ----- (達成目標) 地球の内部構造について理解し、地殻の運動について説明できるようにする。また、日本は火山の活動が活発であり、地震が多い理由について説明できるようにする。		
	第三期	第三学期授業時数計 < 14 > 第3章 移り変わる地球 第1節 地層や岩石と地質構造 ① 堆積岩 ②変成岩 第2節 地球環境と生物界の変遷 ③先カンブリア時代 ④古生代 ⑤中生代 ⑥新生代 ----- (達成目標) 岩石の様子から、その場所で過去にどのような出来事が起きたのかを説明できるようにする。また、各地質時代の特徴について理解する。		
評価方法	①定期考査とノート、プリント提出と実験実習提出の合計により評価をおこなう。②定期考査の赤点は平均点の半分以下とする。③学年の評価は1学期、2学期、3学期の評価をもとに決める。④欠時方が年間20時間を越えた場合には学年の評定を「1」とする。⑤遅刻は3回で1回の欠席とする。 飲食・携帯など指導に従えない場合は欠席扱いとする。			
教科書	「高等学校 改訂 地学基礎」(第一学習社)			

令和 6 年度 年間授業計画

東京都立大森高等学校 定時制

科目名	学年	単位	総授業時数	必修・選択
コミュニケーション英語Ⅱ	4	2	70	必修
指導 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な話題について、聞いたことや読んだことを理解する読解力を伸ばす。 ○ 様々な話題について、情報や考えを英語で伝える力を伸ばす。 ○ 積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。 			
授 業 内 容	第一 学期	第一学期授業時数計 < 24 > Lesson 7 A Microcosm in the Sea (不定詞を含む表現、関係副詞) Lesson 8 Wings of Music (現在分詞、過去分詞の形容詞的用法) * 語彙に関するプリント、文法に関するプリントなど		
		(達成目標) 英語の文型の理解を深め、that節や不定詞、関係詞を含んだ複雑な英文を理解する。		
	第二 学期	第二学期授業時数計 < 28 > Lesson 9 Magic of the Cotswolds (知覚動詞の使い方) Lesson 10 Bunraku (使役動詞の使い方、分詞構文) * 語彙に関するプリント、文法に関するプリントなど		
		(達成目標) 英文法の理解を深め、知覚動詞、使役動詞を理解する。		
	第三 学期	第三学期授業時数計 < 18 > Lesson 11 Bitter Truth about Chocolate (仮定法過去) * 語彙に関するプリント、文法に関するプリントなど		
		(達成目標) 文構造の理解を深め、仮定法過去を理解する。		
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間5回の定期考査、授業の状況、プリント提出等平常授業での取り組みを総合的に判断して評価する。 ○ 出席状況、授業中の積極的を加点して評価する。 			
教 科 書	All Aboard! Communication English II (東京書籍)			

令和6年度 年間授業計画

東京都立大森高等学校 定時制

科目名		学年	単位	総授業時数	必修・選択
生活デザイン		4	2	70	必修
指導目標	生活に関する知識や技術などを学びよりよく生きるための生活設計を行う。				
授業内容	第一学期 第一学 期	第一学期授業時数計<24> 食生活 栄養と健康 食品と調理性 調理実習 現代の食生活とその向上 食糧事情			
		(達成目標) 栄養の摂取と健康との関連性を知る。 食品を取り扱い食事への関心を高める 調理実習を行い、技術や段取りを習得する 日本の食料の現状を知る			
	第二学期 第二学 期	第二学期授業時数計<28> 家族 家族のあり方 結婚にまつわる法律 高齢者と保育 高齢者の特徴と実態 子どもの発達 親の役割と保育 子どもとあそび			
	(達成目標) 家族制度の移り変わりや結婚にまつわる法律を知る。 高齢者福祉の実態と介護保険制度を知る。 子どもの発達について理解し、子どもの取り巻く環境をよくする。 子どもの発育発達を促す玩具について考え、製作する				
第三学期 第三学 期	第三学期授業時数計<18> 社会保障制度 健康保険 年金 雇用保険				
	(達成目標) 社会保障制度の実態を知り、社会人としての基礎知識を身につける				
評価方法	学期ごとのテスト・プリントの記入の状況、授業への取り組みなど総合的に評価する				
教科書	実教出版「生活デザイン」				

令和 6 年度 年間授業計画

東京都立大森高等学校 定時制

科目名	学年	単位	総授業時数	必修・選択
情報の科学	4	2	70	必修
指導 目標	コンピュータやインターネットなどの活用を通じて、情報を適切に収集・分析・加工・発信するための基礎的な知識と活用能力を習得させるとともに、情報の科学的な理解を促す。また、卒業後役に立つよう、実践的なスキルの向上をはかる。			
授 業 内 容	第 一 学 期	第一学期授業時数計 < 24 > ワードの復習 情報化社会の進展と問題点（ネットワーク社会） 情報収集 情報の分析・加工（1）		
		（達成目標）情報の収集手段を学び、情報を的確に収集することの大切さを理解する。 また、収集した情報を分析して加工する手段を理解する。		
	第 二 学 期	第二学期授業時数計 < 28 > 情報の分析・加工（2） 情報の発信 プレゼンテーションの技法 プレゼンテーションによる発表		
		（達成目標）情報を加工し、分析することにより、情報を科学的に理解する。 また、有効なプレゼンテーションの方法について理解する。		
	第 三 学 期	第三学期授業時数計 < 18 > マルチメディア表現 これからの情報社会 画像の処理と名刺作成		
		（達成目標）マルチメディアによって表現することにより、情報の総合性を理解する。 名刺を作成することにより情報機器を活用する手段を理解する。		
評 価 方 法	情報活用の実践能力が養われたか、情報の科学的な理解ができたか、ネットを守りながら情報社会に参画する態度が養われたかを、課題及び作品、授業態度、出席状況を総合的に評価する。			
教 科 書	高等学校 情報の科学 第一学習社			

令和 6 年度 年間授業計画

東京都立大森高等学校 定時制

科目名	学年	単位	総授業時数	必修・選択
総合的な探究の時間	4	1	35	必修
指導 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の進路を考える中で、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成し、自己の在り方生き方考えることができるようにする。 ・ 修学旅行と連携し、その地域について探究活動を行い、自ら課題をみつけ、自ら学び、自ら考え、主体的に理解する。またグループで活動計画を構築する中で、主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。 ・ 広い視野から国際理解を深め、自然や歴史を学ぶ中で、自己の在り方生き方考えることができるようにする。 			
授 業 内 容	第 一 学 期	第一学期授業時数計< 12 > <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路選択を主眼において、自己を見つめ、様々な進路先の中から、自らの進路を選択できるように、学校図書館などと連携して、自らに在り方生き方考える。 ・ 情報メディアなどを活用して、国際理解や平和の大切さを学ぶ。 		
		(達成目標) <ul style="list-style-type: none"> ・ 各自の進路に向けて、自分の進路を決められるようにする。 		
	第 二 学 期	第二学期授業時数計< 14 > <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館や情報機器を活用して、文化や歴史などについて探究活動を行う。 ・ グループ編成を行い、主体的に活動計画を構築する。 ・ 修学旅行終了後、文化祭等で発表できるように、まとめたり、表現したりすることができるようにする。 ・ 情報メディアなどを活用して、国際理解や自然や歴史の大切さを学ぶ。 		
		(達成目標) <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化・歴史を探究し、まとめたり表現したりできるようにする。 		
	第 三 学 期	第三学期授業時数計< 9 > <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの進路に応じた、進路先や試験の方法についてまとめたり、レポートにしたりして自らの在り方生き方考える。 		
		(達成目標) <ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの在り方生き方を考え、今後の進路を決定する。 		
評 価 方 法	授業中の取り組み状況や出席状況、レポートや発表内容などを総合的に評価する。			
教 科 書	なし			